

5 統計資料

(1) 設問別正答率(%) (過去との比較)

【表2】は、抽出答案による設問別正答率を年度ごとにまとめたものである。年度により出題内容や難易度が異なるため、単純な数値の比較は困難であるが、本年度は、設問【3】文法・語法問題の正答率が高く、設問【6】整序・作文問題の正答率が低いことが分かる。

設問別正答率(%)の推移(過去との比較)

【表2】

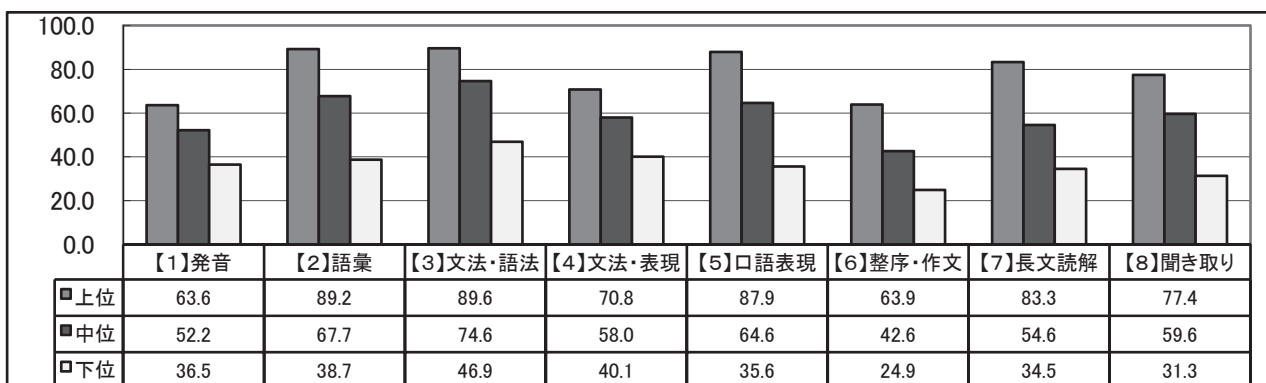
年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
抽出人数	3,227	3,204	3,265	3,252	3,207	3,177	2,953	2,795	860
全設問	61.1	57.0	51.2	65.5	59.9	61.9	62.6	65.5	56.0
【1】発音・文強勢	45.2	66.6	46.9	59.8	64.3	64.5	50.3	62.9	50.1
【2】語彙	50.6	41.2	47.9	49.6	35.5	64.5	62.7	64.2	64.0
【3】文法・語法	79.0	67.0	55.7	63.9	56.0	74.3	76.7	77.0	69.4
【4】文法・表現	53.3	40.3	42.9	71.4	59.8	70.1	74.6	65.6	55.6
【5】口語表現	74.4	73.5	45.8	83.9	65.7	55.2	69.1	57.7	61.5
【6】整序・作文	55.6	55.2	55.2	60.9	66.3	40.0	48.6	63.7	42.9
【7】長文読解	63.7	52.7	51.2	60.5	63.3	61.6	59.6	58.0	56.3
【8】聞き取り	70.7	75.1	59.1	75.5	60.4	72.5	62.9	77.7	55.0

(2) 令和2年度設問別正答率(上位・中位・下位層の比較)

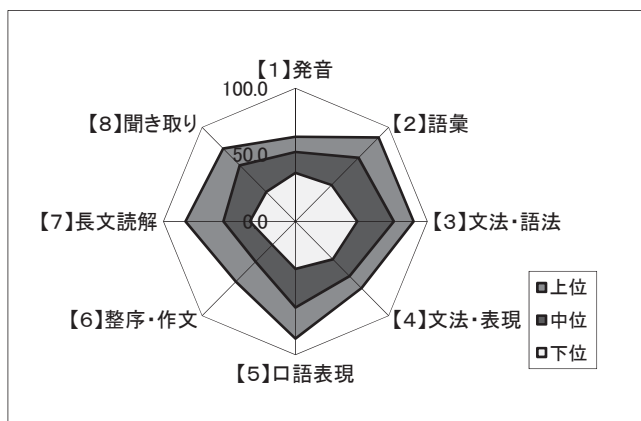
【図1】は、受験者10名以上の調査校43校(学科・コース)から抽出した860名中の学校平均点上位9校(偏差値55以上)に所属する264名(上位層)、学校平均点中位14校(偏差値45以上55未満)に所属する291名(中位層)及び学校平均点下位20校(偏差値45未満)に所属する305名(下位層)の設問別正答率をグラフにしたものである。

設問別正答率(%) (上位・中位・下位層の比較)

【図1】



設問別正答率(%) 【図2】



【図2】は【図1】をレーダーチャートにしたものである。設問別に各層の正答率を比較すると、【2】語彙、【5】口語表現で各層の差が大きい。特に下位層で、表現力に課題がある傾向が過年度と同様に見られる。一方、【3】文法・語法で各層の正答率が高い。文法の知識を活用する力が比較的身に付いている傾向は、昨年度と同様である。